

議案第 33 号

令和 7 年度屋久島町後期高齢者医療事業特別会計予算

令和 7 年度屋久島町の後期高齢者医療事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第 1 条 岁入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 225,735 千円と定める。

2 岁入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第 1 表 岁入歳出予算」による。

(歳出予算の流用)

第 2 条 地方自治法第 220 条第 2 項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 各項に計上した給料、職員手当及び共済費に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用

令和 7 年 3 月 7 日 提出
屋久島町長 荒木 耕治

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算

歳 入

(単位：千円)

款	項	金額
1 後期高齢者医療保険料		137,064
	1 後期高齢者医療保険料	137,064
2 使用料及び手数料		15
	1 手 数 料	15
3 国庫支出金		561
	1 国庫補助金	561
4 繰入金		84,840
	1 一般会計繰入金	84,840
6 諸 収 入		3,255
	1 延滞金・加算金及び過料	10
	2 償還金及び還付加算金	310
	4 雜 入	2,365
	5 受託事業収入	570
歳 入 合 計		225,735

歳 出

(単位：千円)

款	項	金額
1 総務費		9,216
	1 総務管理費	8,552
	2 徴 収 費	664
2 後期高齢者医療広域連合納付金		204,137
	1 後期高齢者医療広域連合納付金	204,137
3 保健事業費		11,971
	1 健康保持増進事業費	11,971
4 諸支出金		311
	1 償還金及び還付加算金	310
	2 繰 出 金	1
5 予備費		100
	1 予備費	100
歳出合計		225,735

歳 入 歳 出 予 算 事 項 別 明 細 書

1 総括
歳入

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1 後期高齢者医療保険料	137,064	134,760	2,304
2 使用料及び手数料	15	15	0
3 国庫支出金	561	0	561
4 繼入金	84,840	85,402	△562
6 諸収入	3,255	2,959	296
歳入合計	225,735	223,136	2,599

歳出

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比 較	本年度予算額の財源内訳		
				特 定 財 源		一般財源
				国県支出金	地 方 債	
1 総務費	9,216	11,199	△1,983	561		15 8,640
2 後期高齢者医療広域連合納付金	204,137	200,964	3,173			67,072 137,065
3 保健事業費	11,971	10,562	1,409			9,641 2,330
4 諸支出金	311	311	0			310 1
5 予備費	100	100	0			100
歳出合計	225,735	223,136	2,599	561		77,038 148,136

2 歳 入

(款) 1 後期高齢者医療保険料

(項) 1 後期高齢者医療保険料

(単位 : 千円)

目	本 年 度	前 年 度	比 較	節		説 明
				区 分	金 額	
1 特別徴収保険料	95,525	93,912	1,613	1 現年度分	95,525	現年度分 95,525
2 普通徴収保険料	41,539	40,848	691	1 現年度分	40,939	現年度分 40,939
				2 滞納繰越分	600	滞納繰越分 600
計	137,064	134,760	2,304			

(款) 2 使用料及び手数料

(項) 1 手数料

2 督促手数料	15	15	0	1 督促手数料	15	督促手数料 15
計	15	15	0			

(款) 3 国庫支出金

(項) 1 国庫補助金

2 子ども・子育て支援事業費補助金	561	0	561	1 子ども・子育て支援事業費補助金	561	子ども・子育て支援事業費補助金 561
計	561	0	561			

(款) 4 繰入金

(項) 1 一般会計繰入金

1 事務費繰入金	11,072	12,916	△1,844	1 事務費繰入金	11,072	事務費繰入金 11,072
2 保険基盤安定繰入金	67,062	66,192	870	1 保険基盤安定繰入金	67,062	保険基盤安定繰入金 67,062
3 一体的の実施事業繰入金	6,706	6,294	412	1 一体的の実施事業繰入金	6,706	一体的の実施事業繰入金 6,706
計	84,840	85,402	△562			

(款) 6 諸収入

(項) 1 延滞金・加算金及び過料

1 延滞金	10	10	0	1 延滞金	10	延滞金	10
計	10	10	0				

(款) 6 諸収入

(項) 2 債還金及び還付加算金

1 還付加算金	10	10	0	1 還付加算金	10	還付加算金	10
2 保険料還付金	300	300	0	1 保険料還付金	300	保険料還付金	300
計	310	310	0				

(款) 6 諸収入

(項) 4 雜入

1 雜入	2,365	2,102	263	1 雜入	2,365	健診補助金（後広域）	2,365
計	2,365	2,102	263				

(款) 6 諸収入

(項) 5 受託事業収入

1 後期高齢者医療広域連合受託事業収入	570	537	33	2 一体的実施事業収入	570	一体的実施事業収入	570
計	570	537	33				

3 歳 出

(款) 1 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:千円)

目	本年度	前年度	比 較	本 年 度 の 財 源 内 訳			節		説 明	
				特 定 財 源			一般財源	区 分		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他				
1一般管理費	8,552	10,717	△2,165	561			7,991	1報酬 2給料 3職員手当等 4共済費 8旅費 10需用費 11役務費 12委託料 13使用料及び 賃借料 18負担金、補助 及び交付金	74 2,983 2,573 1,016 126 275 762 69 113 561	保健事業事務補助員(特適) 74 一般職給 2,983 扶養手当 312 住居手当 246 通勤手当 124 特殊勤務手当 30 時間外勤務手当 60 期末勤勉手当 1,204 児童手当 240 退職手当組合負担金 357 職員共済組合負担金 1,016 普通旅費 120 費用弁償 6 消耗品費 180 印刷製本費 95 通信運搬費 762 窓口端末保守委託料 69 PC機器リース料(所移外) 113 子ども・子育て支援事業負担金 561
計	8,552	10,717	△2,165	561			7,991			

(款) 1 総務費

(項) 2 徴収費

1 徵収費	664	482	182			15	649	10 需用費	192	消耗品費 燃料費	162 30
								11 役務費			
計	664	482	182			15	649		472	通信運搬費	472

(款) 2 後期高齢者医療広域連合納付金

(項) 1 後期高齢者医療広域連合納付金

1 後期高齢者医療広域連合納付金	204,137	200,964	3,173			67,072	137,065	18 負担金、補助及び交付金	204,137	後期高齢者医療広域連合納付金（被保険者保険料）	136,465
								後期高齢者医療広域連合納付金（保険基盤安定分担金）		後期高齢者医療広域連合納付金（延滞金）	
										後期高齢者医療広域連合納付金（過年度）	
計	204,137	200,964	3,173			67,072	137,065				

(款) 3 保健事業費

(項) 1 健康保持増進事業費

1 健康診査費	3,208	2,864	344			2,308	900	7 報償費	68	記念品代	68
								10 需用費		消耗品費 印刷製本費	
								11 役務費		通信運搬費 手数料	
								12 委託料		健康診査委託料	
3 疾病予防費	200	200	0			57	143	18 負担金、補助及び交付金	35	長寿健診等データ管理システム開発負担金	35
										人間ドック利用補助金	

(款) 3 保健事業費

(項) 1 健康保持増進事業費

目	本年度	前年度	比 較	本 年 度 の 財 源 内 訳			節		説 明	
				特 定 財 源			一般財源	区 分		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他				
4 一体的実施事業	8,563	7,498	1,065	7,276	1,287	1報酬 2給料 3職員手当等 4共済費 8旅費 10需用費 11役務費 12委託料	692	保健事業専門員（有資格者）	692	
							3,574	一般職給	3,574	
							2,345	扶養手当 通勤手当 時間外勤務手当 期末勤勉手当 児童手当 退職手当組合負担金	138 124 72 1,463 120 428	
							1,163	職員共済組合負担金	1,163	
							343	普通旅費 費用弁償	279 64	
							153	消耗品費 印刷製本費 燃料費	76 53 24	
							48	通信運搬費 手数料	9 39	
							245	健診等事務委託	245	
計	11,971	10,562	1,409	9,641	2,330					

(款) 4 諸支出金

(項) 1 債還金及び還付加算金

1 還付加算金	10	10	0			10	22 債還金, 利子及び割引料	10	還付加算金	10
2 保険料還	300	300	0			300	22 債還金, 利子	300	保険料還付金	300

(款) 4 諸支出金

(項) 1 償還金及び還付加算金

付金								及 び 割 引 料		
計	310	310	0			310				

(款) 4 諸支出金

(項) 2 繰出金

1 一般会計 繰出金	1	1	0				1	27 繰 出 金	1	一般会計繰出金	1
計	1	1	0				1				

(款) 5 予備費

(項) 1 予備費

1 予備費	100	100	0				100			予備費	100
計	100	100	0				100				

給与費明細書

1 特別職

後期高齢事業

区分	職員数 (人)	給与費							共済費 (千円)	合計 (千円)	備考
		報酬 (千円)	給料 (千円)	期末手当(千円) 年間支給率(月分)	地域手当 (千円)	寒冷地手当 (千円)	その他の手当 (千円)	計 (千円)			
前年度	長等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	議員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	324	0	0	0	0	324	0	324	
	計	1	324	0	0	0	0	324	0	324	
本年度	長等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	議員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	692	0	0	0	0	692	0	692	
	計	1	692	0	0	0	0	692	0	692	
比較	長等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	議員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	368	0	0	0	0	368	0	368	
	計	0	368	0	0	0	0	368	0	368	

備考 1 長等とは、町長、副町長をいい、その他の特別職とは長等及び議員以外の特別職をいう。

2 この表は、報酬又は給料をもって支弁される特別職の職員で予算の積算の基礎となったものについて記載すること。

3 給与費欄のその他の手当欄に記載した場合は、備考欄に当該手当の内容を具体的に記載すること。

2 一般職

(1) 総括

区分	職員数 (人)	給与費				共済費(千円)	合計(千円)	備考
		報酬(千円)	給料(千円)	職員手当(千円)	計(千円)			
前年度	2	0	8,045	5,262	13,307	2,608	15,915	
本年度	2	0	6,557	4,918	11,475	2,179	13,654	
比較	0	0	△ 1,488	△ 344	△ 1,832	△ 429	△ 2,261	

職員手当の内訳	区分	期末勤勉手当 (千円)	扶養手当 (千円)	通勤手当 (千円)	住居手当 (千円)	児童手当 (千円)	管理職手当 (千円)	時間外手当 (千円)	べき地勤務手当 (千円)
	前 年 度	3,333	480	496	0	120	0	161	0
	本 年 度	2,667	450	248	246	360	0	132	0
	比 較	△ 666	△ 30	△ 248	246	240	0	△ 29	0
	区分	特殊勤務手当 (千円)	宿日直手当 (千円)	管理職員特別 勤務手当(千円)			初任給調整 手当(千円)	退職手当組合 負担金(千円)	
	前 年 度	30	0	0			0	642	
	本 年 度	30	0	0			0	785	
	比 較	0	0	0			0	143	

備考 この表は、報酬又は給料をもって支弁される一般職の職員（事業支弁に係る職員を含む。）で予算の積算の基礎となったものについて記載すること。

(2) 給料及び職員手当の増減額明細

区分	増減額(千円)	増 減 事 由 别 内 訳 (千円)	説 明	備 考
給 料	△ 1,488	給 料 改 定 に 伴 う 増 減 分	1,413	給与改正による増 制度改革に伴うもの 制度改革に伴うもの
		昇 給 に 伴 う 増 加 分	△ 162	
		そ の 他 の 増 減 分	△ 2,739	
職 員 手 当	△ 344	制 度 改 正 に 伴 う 増 減 分	169	制度改革に伴うもの 職員構成等に伴う減
		そ の 他 の 増 減 分	△ 513	

備考 1 増減欄の金額は、「(1) 総括」の給料及び職員手当のそれぞれの比較金額と一致すること。

2 説明欄には、増減事由別内訳の金額の積算等を適宜記載するとともに、職員手当の制度改革に伴う増減分について当該手当の種類別の内訳を記載すること。

(3) 給料及び職員手当の状況

ア 職員一人あたり給与

区分	一般職員			教育職員	
	一般行政職	技能労務職	医療職	幼稚園	その他の教員
令和6年4月1日	平均給料月額(円)	332,950			
	平均給与月額(円)	373,600			
	平均年齢(歳)	45.08			
令和7年4月1日	平均給料月額(円)	272,000			
	平均給与月額(円)	311,300			
	平均年齢(歳)	35.07			

イ 初任給

区分		一般行政職(円)	技能労務職(円)	医療職一(円)	医療職二(円)	医療職三(円)	教育職(円)
町	高校卒	188,000		—	188,600	—	—
	大学卒	220,000		366,200	227,400	255,400	238,000
国	高校卒	188,000		—	188,600	—	—
	大学卒	220,000		366,200	227,400	255,400	238,000

ウ 級別職員数

区分	一般行政職			技能労務職			医療職			教育職		
	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)
令和6年4月1日	1級			1級			1級			1級		
	2級			2級			2級			2級		
	3級	1	50.0	3級			3級			3級		
	4級			4級			4級			4級		
	5級	1	50.0	5級			5級					
	6級			6級			6級					
	7級			7級			7級					
	計	2	100.0	計			計			計		
令和7年4月1日	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)
	1級			1級			1級			1級		
	2級	1	50.0	2級			2級			2級		
	3級	1	50.0	3級			3級			3級		
	4級			4級			4級			4級		
	5級			5級			5級					
	6級			6級			6級					
	7級			7級			7級					
	計	2	100.0	計			計			計		

(給別の標準的な職務内容)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
行政職	1 主事補若しくは技師補又は主事若しくは技師の職務 2 船舶の乗組員の職務	1 主任の職務 2 相当の技能または経験を必要とする船舶の乗組員の職務	1 主査の職務 2 高度な技能又は経験を必要とする船舶の乗組員の職務	1 主幹及び係長の職務 2 相当な技能又は経験を有する船舶の各次長の職務	1 統括係長及び出先機関の次長の職務 2 専門官の職務 3 船舶の各長の職務	1 課長、所長若しくは事務局長の職務又は出先機関の長若しくは参事の職務 2 船舶の船長	特に重要な業務を所掌する課長等の職務

工昇給

区分		合計	代表的な職種			
			一般行政職	技能労務職	医療職	教育職
前年度	職員数(A)(人)	2	2			
	昇給に係る職員数(B)(人)	2	2			
	号給数別内訳	2号給(人)				
		3号給(人)				
		4号給(人)	2	2		
		6号給(人)				
		8号給(人)				
	比率(B)/(A) (%)	100.0	100.0			
本年度	職員数(A)(人)	2	2			
	昇給に係る職員数(B)(人)	2	2			
	号給数別内訳	2号給(人)				
		3号給(人)				
		4号給(人)	2	2		
		6号給(人)				
		8号給(人)				
	比率(B)/(A) (%)	100.0	100.0			

才 期末手当・勤勉手当

区分	給期別支給率		支給率計(月分)	職制上の段階職務の級等による加算措置	備考
	6月(月分)	12月(月分)			
前年度	2.30	2.30	4.60	有	
本年度	2.30	2.30	4.60	有	
国の制度	2.30	2.30	4.60	有	

カ 定年退職及び勧奨退職に係る退職手当

区分	20年勤続者の者 (月分)	25年勤続者の者 (月分)	30年勤続者の者 (月分)	最高限度額 (月分)	その他の加算措置等	備考
支給率等	26.365500	33.270750	40.803750	47.709000	定年前早期退職特例措置	
国の制度 (支給率等)	24.586875	33.270750	40.803750	47.709000	定年前早期退職特例措置	

キ 地域手当

支給対象地域	
支給率(%)	
国の指定基準に基づく支給率(%)	

ク 特殊勤務手当

区分	全職種	代表的な職種			
		一般行政職	技能労務職	医療職	教育職
給料総額に対する比率(%)	0.46	0.46			
支給対象職員の比率 (令和7年4月1日)	100.0	100.0			
代表的な特殊勤務手当の名称	臨戸徴収・収納手当				

ケ その他の手当

区分	国の制度との異同	差異の内容
扶養手当	同	
住居手当	同	
通勤手当	異	自動車通勤者については距離加算あり